

いのりよの ひろば

Vol. 241
2019.11.25



- 1面 冬の感染症
- 2面 呼吸器疾患のリハビリテーション
認定看護師に聞く
- 3面 地域医療連携
「あおまつ小児科クリニック」
- 4面 高槻病院には
どんな医師がいるの？
市民公開講座

寒さが身にしみる頃となりましたが体調はいかがでしょう？冬は気温が低く空気が乾燥します。そのため、ウイルスが伝播、感染しやすくなります。一方、ヒトの持つ抵抗力は低下してしまいます。よって、冬にかぜ症候群（風邪）やインフルエンザなどの呼吸器感染症、ノロウイルスなどの感染性胃腸炎が問題となります。

インフルエンザはインフルエンザウイルスに感染することで起こる病気で、多くのヒトが複数回かかった経験があると思います。風邪とは異なり高熱、頭痛、筋肉痛、下痢、倦怠感などの全身症状が急速に現れるのが特徴で、併せて風邪と同じ咽頭痛、鼻汁、咳などの症状もみられます。ただ、毎年同じ様に発症するのではなく、典型的な症状を欠く場合もみられます。わたし自身も微熱だったのでですが倦怠感がありにひどいので迅速検査をしたらインフル陽性だった経験があります。インフルエンザウイルスは咳やくしゃみ、会話など

で飛ぶ唾液や鼻汁に含まれて感染する「飛沫感染」と、ウイルスのついた手で触れた所をさわり、その手で口や鼻を触ることで感染する「接触感染」によって広がります。治療は抗インフルエンザ薬です。内服薬や吸入薬、点滴剤があるので相談して処方を受けてください。また、予防策としてワクチンがあるので早めの予防接種をおすすめいたします。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、通常1〜2日間の潜伏期の後、突然の吐き気、嘔吐、腹痛、下痢などで発症します。ウイルスに汚染された二枚貝（牡蠣やアサリなど）を摂取することで感染する「経口感染」がよく知られていますが、その他にも嘔吐物や下痢便を介する「接触感染」があります。感染力が非常に強く、しばしば集団発生が報告されています。治療薬は無いため対症療法です。ワクチンもありません。

どちらの感染症も子供や高齢者、免疫が低下しているヒトでは重症化することがあります。

冬の感染症について インフルエンザウイルス とノロウイルス



呼吸器内科 部長

上領 博

診断・処方を受けた後、数日たっても症状のピークを迎えず増悪するときは、改善傾向であった症状が再度悪化する場合には再度受診が必要です。

まずは感染しないようにこまめな手洗いと口や鼻をむやみに触らないように心がけ、マスク着用すること。十分な休養とバランスのとれた食事をとって体力を保つようにしてください。感染を疑えば必要に応じて受診して治療を受けてください。また、感染してしまった場合にもマスクの着用や咳エチケット、手洗いなどを行い、他のヒトにうつさないように心がけることも大切です。社会全体で元気を冬を乗り切りましょう。



呼吸器疾患の リハビリテーションについて

リハビリテーション科 作業療法部門 渡辺 佳那栄

呼吸リハビリテーションとは

呼吸リハビリテーションとは、呼吸器に障害が生じた患者様に対し、可能な限り機能を改善・維持することで、自立した日常生活や社会生活を送れるよう継続的に支援する医療です。患者様が抱かされている不安に対しては、作業療法士が日常生活内での役割など一人一人に沿った指導や解決方法を一緒に考え、工夫点をお伝えし、生活の質の改善を目指しています。当院では在宅酸素を使用されている方を対象として、年に2回HOTレクリエーションを開催しております。

HOTレクリエーションとは

適度な運動や楽しめる活動というのは、人が生きる上で非常に大切なものです。どんなに身体が元気でも、楽しみや生きがいがないければ活力は沸いてきません。そこで、患者様・ご家族ともに外出には不安が強いと感じている方でも参加可能なHOTレク

リエーションを実施しております。また安全面への配慮として医師や看護師、療法士が付き添い十分な医療体制のもとHOTレクリエーションを思い切り楽しんで頂くことで、身体・精神機能・心肺機能の改善だけでなく、生活の質の改善にも繋がるような取り組みをしています。患者様と共に楽しみ、お話をしていくことで、私たち自身も患者様が生活の中で本当にお困りであることが何かということに気付かされることも多くあり、今後の医療やサービスにも活かしていきたいと思っております。



認	定	
看	護	師
に	聞	く

がん相談支援センターって 知っていますか？

～がんに関するよろず相談所～

乳がん看護認定看護師 溝口 綾

がんと診断されると心がとてもつらくなったり、がん治療の様々な選択肢から意思決定することに困難を感じたりすることがあります。がんの治療では、手術の合併症、抗がん剤、放射線治療等の副作用が起こることがあり、身体的症状だけでなく、外見の変化が出ることがあります。例えば、嘔気や嘔吐、倦怠感や疼痛、しびれ等の末梢神経障害などの身体的症状に加え、脱毛、浮腫、皮膚や爪の変化等の外見の変化が現れ、生活に大きく影響します。さらにがん治療は長く続くことがあり、経済的負担は大きく、それに伴い就労に関する問題も出てきます。現在の仕事を続けられるか、続けるために

はどうしたらよいか、などの社会的な不安も伴います。これらの患者様や周りで支えるご家族様が抱える悩みや苦痛に関して、少しでも支援できるように高槻病院1階に「がん相談支援センター」を設置しております。院内のがんの専門の看護師、薬剤師、MSW(医療社会福祉士)、栄養士、リハビリセラピスト等の専門分野の担当者につなぎ、充実した支援ができるようにしております。

患者様御本人だけでなく、ご家族様だけでも、些細な事でも構いませんのでがん相談支援センターをご利用ください。





青松 友槻 先生

まちの身近な クリニックを目指して



●開院の経緯

「未来ある子どもたちの健康と成長にかかわる仕事がしたい」というシンプルな理由から小児科医を志しました。大阪医科大学を卒業後、約18年間、同大学の附属病院で小児消化器を専門としながら市民病院や診療所で一般小児科の研鑽を積んできました。大学時代から高槻で過ごすなかで、近年開発が進んで若い世代が増えているJR高槻駅北側エリアにおける小児科一次診療の場のニーズを実感していました。40歳という節目の年齢を迎えたこともあり、「まちの身近な存在となつて地域医療に貢献したい」という医師を志した原点到ち返り、2019年7月、古曽部の地で当院を開院いたしました。

●クリニックの特徴

正確な診断に基づいた治療心がけており、そのために必要な医療機器を充実させています。とくに、長年研鑽を重ねてきた超音波エコーを駆使するのが当院の診療の大きな特徴です。たとえば腸炎でも抗生物質が必要かそうでないか、重度の脱水はないかなど、治療するうえで大切な情報を簡単に得ることができます。超音波エコーは腹部だけでなく副鼻腔などの耳鼻科領域でも有用で、副鼻腔炎(ちくのう症)の診断などにも活用しています。

お子さまを連れていくつもの病院を受診するのは親御さんにとって大きな負担になります。受診が1か所で完結するように、耳、鼻、皮膚、アレルギー性疾患、喘息や鼻炎などの診療にも力を入れています。鼻吸引器は診察室内に設置しており、必要なきはその場で処置を行っています。チューブタイプを採用しているため、奥の方にたまつた分泌物もしつかりと吸引することができま

す。予防接種は通院回数を減らし、かつ必要な免疫を早くつけるために同時接種を実施しています。とくに乳幼児期のワクチンは種類が多くスケジュールも複雑ですので、何でもお気軽にご相談ください。ビルにはエレベーターが設置されています。院内は段差がないバリアフリー設計となっており、ベビーカーやバギーで診察室内まで入っていただけます。院内感染防止のために熱の有無で待合いを分け、空気殺菌システム(エアロシールド)を導入しています。

●高槻病院への要望

道路を挟んで向かい側という立地もあり、いつも大変お世話に

なっております。病状が重い患者さんや専門的な診察を必要とする患者さんがいた場合、いつも迅速に対応していただき大変助かっています。受診後の連絡やフィードバックも細やかでありがたく感じています。当院を受診していただき、必要な場合はスムーズに総合病院へ診療を引き継ぐ体制が整っていることは、地域のみならず、今後の安心につながると思っています。今後ともよろしくお願ひ致します。

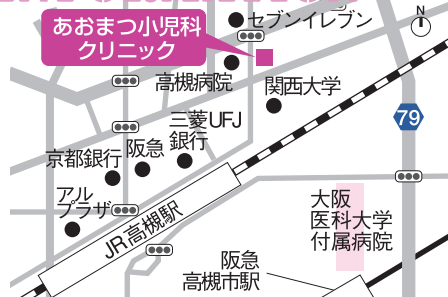


なっております。病状が重い患者さんや専門的な診察を必要とする患者さんがいた場合、いつも迅速に対応していただき大変助かっています。受診後の連絡やフィードバックも細やかでありがたく感じています。当院を受診していただき、必要な場合はスムーズに総合病院へ診療を引き継ぐ体制が整っていることは、地域のみならず、今後の安心につながると思っています。今後ともよろしくお願ひ致します。

青松先生、お忙しい中、快くインタビューをお受けいただきありがとうございます。青松先生はとてもしっかりとしたお人柄で、二つの質問に丁寧に答えて下さいました。お子さんを連れて部屋を移動する負担やお子さんの不安を少しでも減らしたいという理由から、診療・処置がひとつの部屋でできるように配慮しているというお話しを伺い、先生の優しさや温かいお人柄をうかがい知ることができました。また、常に良い医療を提供したいと歩み続けるお姿が印象的でした。患者さんやご家族の目線に立ち、地域に根ざされる先生の診療のお役に立てるよう、より良い連携に努めてまいりますのでよろしくお願ひいたします。

地域医療部 道正・沖吉

INFORMATION



小児科

あおまつ小児科クリニック

〒569-1115 大阪府高槻市古曽部町2-13-4 MRビル3階
TEL.072-684-8341

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~11:30	○	○	○	○	○	○
14:00~16:00	■	★	×	▲	★	×
16:00~18:30	○	○	×	○	○	×

■…便秘外来/予約外来(インターネット/電話/窓口)
★…予防接種外来(予約制)
▲…乳児健診外来(予約制)
注) 予防接種外来と乳児健診外来は14時~15時での実施とさせていただきます。
(BCGは火、木、金の13時45分~14時00分)

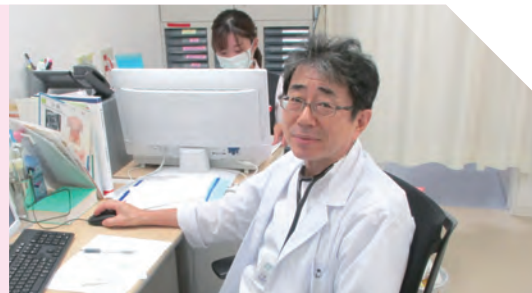
休診日/水曜午後、土曜午後、日曜、祝日

高槻病院には doctor Introduction



どんな医師がいるの？

| vol.1 | 消化器内科 副院長 中島 卓利 先生



専門分野

大学病院ではヘリコバクター・ピロリ菌の研究をおこない、市中病院にでてからは、消化管疾患全般の診断と内視鏡治療を専門として、大腸ポリープや消化管癌の内視鏡検査・治療を積極的に行ってきました。現在では、肝臓・胆嚢・膵臓も含めた消化器疾患全般を幅広く診療しています。



プライベート

週末はジムで汗をかくようにしています。お酒はワインが好きで、娘の生まれた年のワインを買い込んでいます。また当直した翌日が休日の場合に、自宅(神戸)に直接に帰らずに京都に行くようになってから神社巡りにはまっています。今年も100カ所以上に参拝し、御朱印をたくさん戴きました。

患者様へのメッセージ

医師になって30年以上経過し、めざましい医療の変化を実感しています。かつては難治であった病気が比較的容易に治癒できる場合もあります。しかし、病気そのものより病んでいる人を診ることが重要で困難なことを痛感しています。常に“自分であったらどうしたいか？自分の家族であったらどうして欲しいか？”患者さん・ご家族の気持ちを重視して診療を考えていきたいと思っています。

次号は 救急総合診療科 稲本 真也 副院長 よろしくお願ひします！

高槻病院 市民公開講座のお知らせ

第44回

日時
場所
内容
講師

12月18日(水)11:00~12:00

愛仁会ふれあい広場(愛仁会リハビリテーション病院3階)

お腹いっぱいな人生を~まだまだ食べたりない~

朝比奈 沙羅 選手(柔道) ※講演会終了後、握手・撮影会を行います。

東京オリンピック、柔道での出場が最有力視されている朝比奈選手から、夢へのチャレンジについて、アスリートならではの経験をもとにたっぷりお話を伺います。

参加無料

第45回

日時
場所
内容
講師

12月23日(月)10:00~11:00

愛仁会ふれあい広場(愛仁会リハビリテーション病院3階)

小児の感染症~インフルエンザ脳症と感染予防について~

小児科 起塚 庸 先生

申込
お問合せ先高槻病院 入院診療支援科(第44回)
高槻病院 管理科(第45回)TEL 072-681-3801 (代表) 音声ガイダンス番号「7」(平日9:00~16:00)
FAX 072-682-3834

※FAXでお申し込みの際は、「第44回(または第45回)市民公開講座」と明記してください。

社会医療法人
愛仁会

高槻病院

■高槻病院の理念「患者さまの満足する医療」

■患者さまの権利

1. 患者さま個人の人格や価値観が尊重され、医療者との信頼関係の下で、良質で安全、公正な医療を適切に受ける権利があります。
2. 病気の診断・治療・予後などに関して、その効果や危険性、または他の方法の有無について、理解できるようにわかりやすい説明を受ける権利があります。
3. 理解できるわかりやすい説明を受けたのち、検査の諾否や治療法の選択などについて自分で決定する権利があります。

■患者さまの責務

1. 患者さま自らの健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療者に伝える責務があります。
2. 病気の診断・治療・予後などに関して、理解できるまで質問をする責務があります。
3. すべての患者さまが良質で安全な医療を適切に受けることができるように、他の患者さまの診療や病院の医療提供に支障をきたさないように配慮する責務があります。

愛仁会リハビリテーション病院 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号 ☎072-683-1212
 しんあい病院 〒569-1123 高槻市芥川町2丁目3番5号 ☎072-681-5533
 しんあいクリニック 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目4番3号 ☎072-668-5000
 愛仁会高槻在宅サービスセンター 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号
 訪問看護ステーション愛仁会高槻 ☎072-686-1876
 ケアプランセンター愛仁会高槻 ☎072-686-1882
 ケアプランセンターケーアイ ☎072-687-2536
 ケアプランセンター愛仁会富田 ☎072-692-2941
 しんあいケアプランセンター ☎072-680-3000
 ヘルパーステーション愛仁会高槻 ☎072-686-1875
 ヘルパーステーション愛仁会富田 ☎072-692-2942
 介護老人保健施設ケーアイ 〒569-1051 高槻市大字原112番地 ☎072-687-0103
 介護老人保健施設しんあい 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目4番1号 ☎072-680-3000
 愛仁会総合健康センター 〒569-1143 高槻市幸町4番3号 ☎072-692-9291
 愛仁会看護助産専門学校 〒569-1115 高槻市古曽部町1丁目3番33号 ☎072-681-6031